

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	東広島市立向陽中学校	校長	脇坂 治海	担当者名	二川 義美
-----	------------	----	-------	------	-------

取組事例名 『 チーム向陽 ～ 絆 ～ 』

生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり
----------------	------------------------------	---	----------------




取組における育てたい資質・能力

- ・主体的に学び考え行う力
- ・自己存在感と共感的人間関係づくり

取組のねらい

- ・誇れる向陽中学校にするために，仲間との絆を深め学校生活をよりよくし，自ら考え行動する力を身につけさせる。
- ・行事等の活動をすることや内容を知ることを通して，活動の意味・活動に関わる人の思い・自らの行動の在り方を考えさせる。

取組の具体的内容

- ・コロナに負けるな
コロナ休業だからこそできたこと，心の支えになったことを全校生徒で共有する。

- ・体育大会の生徒会による解団式 感謝の拍手
みんなのために体育大会を成功させようがんばってくれた人に拍手を送ることを通して，見えないところで努力してくれたことへの感謝の気持ちと仲間との絆を深める。
- ・校舎の大規模改修工事終了に際し，お礼の会
校舎の大規模改修に関わっていただいた工事関係者の方を招き，感謝のメッセージボードを贈るとともに生徒全員で感謝の気持ちを伝え，全面改修された新しい校舎を自分たちのためにも大切にきれいに使っていき気持ちを高める。
- ・友達のいいところ探し（いじめ防止対策の取り組み）
生徒会新聞により普段感じている友達の良さを伝えるメッセージを募集し，メッセージを共有することで仲間との絆を深める。また，仲間からのメッセージを知ることで自己への自信を深める。

- ・「先輩おしえて」
向陽中学校校区の各小学校の6年生が中学校に進学するにあたり，中学校のことについて聞いてみたいことや知りたいことについて事前にアンケートを行い，小学校からの質問形式でリモート会議を行う。


取組の創意工夫

- ・休業という苦しい時期だからこそ，目標を持ち活動していた仲間のことを知ることで，その活動に共感するとともに次への主体的な行動につなげるように考えさせた。
- ・体育大会を個人やクラスで頑張り楽しむだけでなく，体育大会を行うことができた背景に目を向けさせ，それぞれの仕事をやり切った責任感や仲間が支えてくれていることを感じることで絆について考えさせた。
- ・多くの人の思いや努力で自分たちが快適な環境で学習できることを理解し，学校だけでなく社会ともつながっていることを理解させ，感謝の気持ちとその校舎を大切に，未来につなげていく気持ちを高めさせた。
- ・掲示の仕方を工夫し，一人一人を大切にするという向陽中の思いが一つであることを感じられるように工夫した。
- ・安心して向陽中学校に来てほしいという気持ちをこめ，一つ一つの質問に対して丁寧に答える。

取組の成果と課題

- ・コロナ禍の中，いつも行われてきたことが当たり前のことではなく，いろいろな人の思いで活動できていたことに気づくことができた。また，行事等に関わってくださった人への感謝する気持ちを持ち，感謝の気持ちを言葉で伝えようとする気持ちが高まった。
- ・生徒会が生徒の思いを引き出し，向陽中の絆を深めることができた。しかし，生徒会は主体的に活動していく力がついたが，生徒全体が主体的に活動することにつながりにくいことがあった。さらに工夫し，生徒全体が主体的に活動する場面をつくる必要がある。